

当院社員における新型コロナウイルス感染症発生について

4月8日（水）夜、当院の看護師1名が、新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。すでに保健所へ報告し、その指導下、適切に病棟の環境消毒は終了しております。

当該社員は4月3日に発熱し、インフルエンザBの罹患が判明したため自宅待機をしていましたが、その後PCR検査を実施したところ、4月8日夜に陽性と判明いたしました。

当該社員と濃厚接触した社員2名については、発熱、症状はありませんが、疑いが出た5日以降、PCR検査結果が出るまでは自宅待機としています。

当該社員の担当していた病棟では、当該社員が発症後に接触した入院患者さんはおらず、その他に咳、発熱の患者さんもないため、経過観察をしております。当該病棟では、安全のため、当面の間新規入院患者は、受け入れを停止しております。

当院では、手指衛生やマスクの着用など標準的な院内感染対策を適切に行っており、当該社員と濃厚接触した社員は症状、発熱なく自宅待機になっていること、現時点まで他の接触者の発熱がないことから、他病棟の入院及び外来診療はこれまでどおり実施いたします。

皆さまにはご心配をおかけいたしますが、所管保健所と連携のうえ、感染拡大防止に努めてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2020年4月10日

東京通信病院 院長 安原 洋